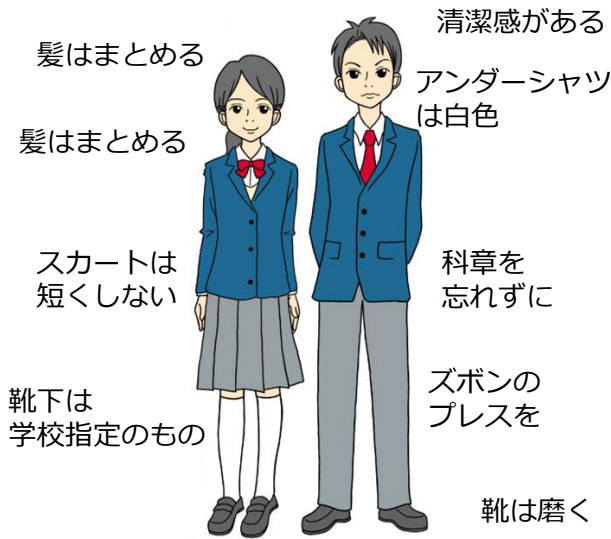


“ありのまま”の自分ではダメです❖

「自分らしさにこだわりすぎる」と、場合によって「損」をすることもあります。面接では、自分を飾る必要もないし自分らしい言葉で話をしてほしいのですが、内容についてはきちんと考えて整理して作り込むことが大切です。履歴書の志望動機をもとに口頭で自己アピールできるように、面接練習にしっかり取り組んでください。「採用されたい!」「入社したい!」という気持ちが企業の方に伝わるように、そろそろ本気モードに切り替えましょう!

就活本気モードその①

身だしなみ



初対面で好印象を与える一番簡単な方法は「見た目を整える」ということ。

就活本気モード②

挨拶・声の大きさ

「相手に届く挨拶」とは？
 普段よりも少し大きい声で元気よく、相手を見てはっきりと。笑顔を忘れずに！
 面接が終わったあとも最後まで気を抜かない！

- 大きな声ではっきりと
- 笑顔で
- 目を見て
- 背筋を伸ばす
- 語尾をしっかり言い切る

見た目で好感を与えたら
 今度は説得力のある話し方で。



普段の学校生活で、先生方に対して敬語をきちんと使えない人も多そうですね。敬語には、身内と他者(敬うべき存在)の区別をつけ、思いやるという姿勢が込められています。本番でいつもの自分が出ないように。今からでも遅くないのでしっかり身につけて!

就活本気モード③

…だから何?と聞かせない



志望動機(なぜその会社でその仕事をやりたいと思ったのか)と自分の今まで経験したこと、アピールできることを、とことん深掘りしておくこと。

これまでにも「はい・いいえ」と答えるだけではなく、事実を述べるだけではなく、その理由や根拠を具体的に話すことを何度も注意してきましたよね?



就活本気モード④

適当なことばでごまかさない

「社会に貢献したい」「御社で成長したい」など、ちょっと聞くだけでは良いこと言ってるように聞こえるのだけど・・・

③でも言いましたが具体的にどんな社会貢献をしたいのか、それを思う理由は何か、自分がその会社で働くことによってそれは達成できるのか、実は伝えなければならないことはたくさんあるのです。成長したい人も同じです。会社が求めるのは「成長したい人」ではなく「会社を成長させてくれる人」。あなたが働くことによって、具体的に会社の成長へどう貢献できるのか、を考えてください。

面接練習は5人以上と。やりっぱなしにせず、振り返ることが大事!